2022 年度小委員会活動成果報告

(2023年 2月 15日作成)

	න古・晋倍デザイン のおきのである。 のは、これである。 のは、これでは、これである。 のは、これである。 のは、これである。 のは、これでは、これである。 のは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	のための人間環境学刊行小	主 査 名 : 松原斎樹
小委員会名		V/にW/V/八间塚児子 1911/7、	
	委員会		就任年月: 2022 年 4月
所属本委員会	環境工学委員会		委員長名 :秋元孝之
(所属運営委員会)	(環境心理生理 運営委	員会)	主 査 名 :宗方 淳
設 置 期 間	2022年 4月	~ 2024年 3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	98年4月に刊行された「人間環境学」(朝倉書店)が、刊行から20年を経たが、この間の学問分野の発展を考慮し、それらの内容を含む、全面的な改訂を検討してきた。主たる目的は、人間と環境の関わりに関する基礎知識を授け、学生が建築設計課題に取り組む上で考えるべき、さまざまな心理・行動的観点に気づかせることであり、都市・建築系の学部生が、設計演習課題のエスキスを構想する段階で、人間にとってよい建築、環境をイメージするために有益的な情報を多数盛り込むものである 初年度:第1巻の刊行作業をおこなう。刊行した書籍をもちいて、普及のシンポジウムの開催を計画する。第2巻の企画・内容について詳細な検討する。2年度:各章、各節の内容、を最終的に決定し執筆者に依頼する。第2巻の第一次原稿を収集、委員相互で意見交換を行い、続けて運営委員会内部での査読を行う。その後、第二次原稿を収集、の査読結果を反映させた上で校了とする。2024年2月に脱稿する。		
委員構成 (委員名(所属))	都市・環境デザインのための人間環境学刊行小委員会 主査 松原 斎樹 (京都府立大学) 幹事 辻村 壮平 (茨城大学) 委員 大野 隆造(東京工業大学)、諫川 輝之(東京都市大学)、大井 尚行(九州大学)、 合掌 顕(岐阜大学)、佐野奈緒子(東京電機大学)、讃井純一郎(関東学院大学) 白川 真裕(早稲田大学)、土田 義郎(金沢工業大学)、西名 大作(広島大学)		
		葉大学)、山中と俊夫(大阪大学	
設置 WG (WG 名:目的)			
2022 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無:無 委員会 HP アドレス:	

項目	自己評価		
委員会開催数	2回 (年度内計画を含む)		
刊行物 (シンポジウム資料等は除 く)	1.『都市・建築デザインのための人間環境学』		
講習会			
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画			
大会研究集会			
対外的意見表明・パブ リックコメント等			
目標の達成度 (当初の活動計画と得られ た成果との関係)	1. 第1巻の刊行が完了したことにより。2. シンポジウムを年度末に行うことができないため、次年度に行うことにした。		
委員会活動の問題点 ・課題	1. 今年度は、編集会議が中心となったため、委員会の開催が少なかった。		